

## 第3章 文化財の保存・活用に関する措置

### 1. 文化財の保存・活用に関する措置

第2章の中で、本市の歴史文化の特徴や文化財調査の状況、文化財の保存・活用に関する課題等を検討し、本市における文化財の保存・活用に関する目標と方針及び取り組みを示したが、ここでは、その方針および関連文化財群、文化財保存活用区域を踏まえ、本計画の計画期間に取り組む文化財の保存・活用に関する措置について記載する。

#### (1) 文化財の調査・研究に関する事業

——文化財を総合的に「知る」（調査・研究、情報収集、理解・学習等）取り組み

文化財を適切に保存・活用するためには、市内にある文化財についての情報を把握することが重要であり、そのための調査・研究が不可欠である。調査は行政だけでなく、大学・研究所などの専門機関や市民と協力しながら進めるものとし、未調査分野や調査が必要である文化財について計画的に実施していく。その際、調査にともなう資料の収集、整理、保管についても確実にいき、文化財に対する情報の共有を図る。また、市民団体が主体となる調査・研究活動への支援も行うとともに、調査の成果は、市民に向けて公開する。

#### 取り組み【文化財の総合的把握とその成果の公開】

事業名	建造物調査事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建造物の実態調査を行い、市内の建造物の状況を把握するとともに、専門家による詳細調査を実施する。</li> <li>・伝統的家屋などについては、ヘリテージマネージャー等の専門家や地域・市民と連携して調査を進め、市民が文化財の保存再生に関心を持ち、市民による建物の利活用につなげる。</li> </ul>
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域・専門家等
財源	国費*、市費等

\*国費については、文化庁補助金や地方創生交付金を検討する。

事業名	美術工芸品調査事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画や書跡、甲賀武士関係資料、修験・薬業関係資料などの総合的把握調査を実施し、所在や点数の把握とリスト化を行い、指定を見据えた専門家による調査を行う。総合的把握調査は、専門家とともに地域住民や市民団体も参加し、地域の文化財への関心を高め、地域の魅力創造につなげていく。</li> <li>・東海道関係の土山宿本陣関係資料について、資料のリスト化を進めており、今後専門家の指導を受け、古文書のほか歴史資料や絵画、工芸品を含めた詳細調査を実施する。</li> </ul>
事業期間	令和2（2021）年度～10（2028）年度（総合的把握調査） 令和4（2022）年度～7（2025）年度（詳細調査）
取り組み主体	行政・文化財所有者・市民団体・地域・専門家等
財源	国費、市費等

事業名	民俗文化財調査事業
事業内容	祭礼行事や伝統地場産業にかかる調査を行い、継承のための資料収集・記録作成を行う。
事業期間	令和3(2021)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・保存団体・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	記念物調査事業
事業内容	動植物や庭園などの調査を行い保存すべきものを把握する。
事業期間	令和3(2021)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・専門家等
財源	国費、市費等

事業名	埋蔵文化財調査事業
事業内容	紫香楽宮跡をはじめとした埋蔵文化財の発掘・総合調査を実施するとともに、現地説明会や出土品の展示会などを開催し、遺跡に対する市民の理解促進を図る。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政
財源	国費、市費等

事業名	地域文化財調査事業
事業内容	市内各地の石造物や天然記念物、民家や文化的景観など未指定文化財の調査を実施する。この取り組みを地域主体の文化財の掘り起こしと継承の担い手づくりへとつなげる。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	地域・市民団体・行政等
財源	国費、市費等

事業名	歴史文化普及啓発・交流事業
事業内容	歴史講演会や講座、歴史探訪会などを企画・実施する。また、文化財の公開や文化財を活用した体験教室などの世代間交流事業を実施する。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・地域・市民団体等
財源	国費、市費等

## (2) 文化財の保存・管理に関する事業

——地域の貴重な文化財を「守る」(管理、保存・修理、防災・防犯等) 取り組み

文化財の保存・管理については、市内の貴重な文化財の指定を継続して行うとともに、文化財の保存修理については、所有者の協力のもと、今後の活用を視野に入れた内容とする。また、伝統的な技術の継承支援についても取り組む。

文化財の管理については、文化財パトロールなどで継続的な状況把握を行うとともに、防災・防犯設備の設置への取り組みや、地域主体での清掃活動などの環境整備や日常の見守りなど、地域での防災・防犯体制の強化、市危機管理部局・消防署・警察等と連携した取り組みなどを実施する。

### 取り組み【計画的で周辺環境と一体的な文化財の保存・整備】

事業名	文化財保護審議会の開催
事業内容	文化財保護審議会を開催し、文化財の指定や保存及び活用に関する事項について審議を行う。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政
財源	市費等

事業名	文化財の指定・登録
事業内容	甲賀市文化財の指定及び国登録文化財への提案を行い、その保存と活用を図る。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政
財源	市費等

事業名	史跡等の保存整備事業
事業内容	史跡については、周辺環境との一体的な整備を円滑に進めるため地域の意見を反映するとともに、住民の積極的な参加のもと整備を推進する。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域等
財源	国費、市費等

事業名	文化財の保存修理・技術継承事業
事業内容	修理や保護が必要な文化財について、実態調査を行い、文化財的価値を損ねることなく保存修理や保護活動を行い、適切で継続的な保存管理ができるよう取り組む。また、技術講習会などの継承事業を実施する。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・文化財所有者等
財源	国費、市費等

## 取り組み【文化財の防災・防犯体制の強化】

事業名	文化財防災・防犯事業
事業内容	地域防災計画を踏まえ、文化財所有者へ防災防犯設備の設置を働きかけるとともに、防災訓練の実施など文化財を災害や盗難被害から守る事業を行う。事業実施には、文化財所有者や地域住民、消防署、警察、関係部署が連携して取り組む。文化財が被災した場合には、状況に応じた措置を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・文化財所有者等
財源	国費、市費等

事業名	文化財見守り活動
事業内容	地域で文化財を見守る「文化財保護指導員」の設置に向けた取り組みを行う。
事業期間	令和5（2023）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域等
財源	国費、市費等

## (3) 地域で取り組む保存・継承に関する事業

——文化財を地域の宝として「伝える」（理解・学習、体制づくり、担い手育成等）取り組み  
文化財調査の成果などを活用し、地域の文化財を「地域の宝」として再認識・再確認できるような取り組みを実施し、祭礼や伝統行事等の継承活動へとつなげる。

継承活動を継続し、地域で文化財を保存・継承していく体制づくりや担い手育成が、地域の活性化へつながるような取り組みとする。

## 取り組み【地域で文化財を継承する人づくり、体制づくり】

事業名	文化財保存継承事業
事業内容	講演会や講座を開催し、地域の文化財について関心をもてるような機会をつくる。また、民俗文化財などの保存団体、市民団体、地域住民のネットワーク化を図り、担い手育成・技術継承などの意見交換・情報共有の場を設定する。文化財所有者に対しては、継続的な支援を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財保存団体等
財源	国費、市費等

#### (4) 文化財の整備に関する事業

——まちの魅力向上に向けて、文化財や歴史的景観をさらに「みがく」

(保存整備、価値を高める等) 取り組み——

紫香楽宮跡や水口岡山城跡などの史跡の保存整備においては、保存活用計画を作成する。その上で、史跡等を中心とした周辺地域の保存・活用を市民とともに検討しながら計画的な実施を図る。

当市の特徴ある歴史文化についてストーリーや区域設定を行い、周辺環境を含めた一体的な磨き上げによる魅力の増進を図る。

#### 取り組み【歴史的風土を活かした総合的な保存活用の推進】

事業名	関連文化財群関連事業（※詳細は「(7) 関連文化財群関連事業」参照）
事業内容	甲賀の特徴ある歴史・文化が一覧できるストーリーを設定し、中世甲賀武士の城館跡の整備や街道周辺文化財の公開活用など、地域固有の文化財を大切にしつつ、多彩な取り組みを進める。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・市民団体等
財源	国費、市費等

事業名	文化財保存活用区域関連事業（※詳細は「(8) 文化財保存活用区域関連事業」参照）
事業内容	文化財等が集積し、周辺環境と一体的に整備し、まちづくりに活用することが望ましい区域を設定。地域・市民活動団体・行政等の役割分担のもと事業を進める。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・市民団体・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	国史跡紫香楽宮跡整備事業
事業内容	かつて首都であった紫香楽宮の遺跡を確実に保存し次世代に継承するとともに、史跡の所在する地域のまちづくりや観光の振興を視野に入れた活用を図るため、計画的に史跡の整備を行う。 また、史跡整備にあたっては、地下に埋没し可視化できない個所についても、立体模型やCG、VR等の手法を検討し、見学者が都城全体の歴史的価値を認識できるよう整備手法を工夫する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・文化財所有者等
財源	国費、市費等

事業名	国史跡水口岡山城跡整備事業
事業内容	市のランドマークである水口岡山城跡の史跡の保存整備・活用の方針を検討し、計画的に整備を進める。 除草等環境整備を行い、遺構の顕在化など史跡の保存を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	日本遺産関連事業（※詳細は「(9) 日本遺産関連事業」参照）
事業内容	日本遺産に認定された「忍者」と「六古窯（信楽焼）」の構成文化財の案内板作成や見学ルートの設定など周辺環境を整備し、活用促進を図る。また、日本遺産や市内の歴史文化を紹介する観光拠点を整備する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

### （5）文化財の活用

——歴史文化を資源として「活かす」（教育、まちづくり、観光、福祉等）取り組み

本市の豊かな歴史文化を市外の人たちにも伝え、本市を訪れてもらえるよう情報発信するとともに、史跡や文化財を円滑に見学するための環境整備を行う。また、市民が、本市の歴史文化の魅力や価値を知り、関心を深め、さらにはボランティアガイドへの参加へとつなげていけるよう、探訪会や講演会などの事業を実施する。合わせて、小中学校での出前授業など子どもの頃から歴史文化に親しむ環境づくりを進める。

町並み景観整備や古民家などの歴史的建造物の活用、文化財を中心とした周辺環境の整備活用、企業などと連携した地域の特産品・名物品の開発および製造販売などについては、多分野間で情報共有を図り、包括的な保存活用施策を連携して行う。

本市の多様な文化財を有効に活用していくためには、地域の文化財の公開拠点、文化財をめぐるコースの拠点となる施設が必要である。そのため、新たな拠点施設の整備をはじめ、資料館・図書館・文化ホール・公民館などの公共施設、協力・連携可能な民間施設などを拠点施設としてネットワーク化を図る。あわせて、市民サポーター制度など、市民参加を促進する事業を検討する。

#### 取り組み【文化財の魅力発信の充実】

事業名	歴史文化の魅力発信事業
事業内容	文化財紹介パンフレット等の作成、インターネットを活用した情報発信、歴史探訪ツアーの企画・実施、案内板の設置、各種ツールの多言語化など来訪者に向けた環境整備に取り組む。また、観光部局等と連携しガイドの育成に取り組む。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

事業名	文化財説明板の設置
事業内容	文化財の説明看板設置と、既存の説明板の改修を行い、見学時に文化財の内容を知ることができるよう整備していく。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	国史跡紫香楽宮跡活用事業
事業内容	計画に基づき、案内板の設置や展示施設の充実、史跡探訪会やシンポジウムなどを開催するとともに、地域が実施中の活用事業の支援、さらに地域住民と協働して史跡の維持管理事業や新たなイベント実施などに取り組み、その活動の中で次世代に適切な形で史跡を継承するための理解促進を図る。また、都城遺跡が所在する自治体間の広域連携も検討する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・専門家・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	国史跡水口岡山城跡活用事業
事業内容	史跡の解説リーフレットの作成、史跡見学者のための案内板設置、関係団体との協働によるイベントの開催や講演会・史跡探訪会・企画展などを開催し、史跡や周辺地域の魅力発信など活用を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体等
財源	国費、市費等

#### 取り組み【学校教育との連携】

事業名	学校教育連携事業
事業内容	体験講座や出前授業の実施、歴史文化の教材などを作成し、子どもたちが地域の歴史文化に興味・関心を持つ機会づくりを進め、地域への愛着心の醸成を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・学校・市民団体等
財源	国費、市費等



▲紫香楽宮 中心区画復元 (CG)

## 取り組み【多分野間連携による保存活用施策の推進】

事業名	観光まちづくり連携事業
事業内容	多分野間の連携による文化財などを活用したイベントの開催、歴史的風土を活かした特産品開発などに取り組む。また、日本遺産や東海道などで連携する自治体との広域的な取り組みを推進する。
事業期間	令和5（2023）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・市民団体・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

事業名	福祉・社会教育分野等との連携事業
事業内容	福祉や社会教育分野等と連携し、文化財を活用した高齢者福祉や世代間交流を図る事業を実施する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・市民団体・民間等
財源	国費、市費等

## 取り組み【文化財の継承・活用のための拠点づくり】

事業名	観光拠点整備事業
事業内容	日本遺産や市内の歴史文化を紹介する観光拠点を整備する。
事業期間	令和2（2020）年度～7（2025）年度
取り組み主体	行政・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

事業名	資料館等拠点づくり事業
事業内容	歴史民俗資料館等施設の充実を図り、各種普及事業に取り組むとともに、市内の文化財等公開施設をネットワーク化し、連携した情報発信、見学ルートの整備などを進める。また、市民参画を促進する。
事業期間	令和5（2023）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・市民団体・関係団体・民間等
財源	国費、市費等



## (6) 市民・行政の連携事業

——市民の活動と行政の取り組みを「つなぐ」（交流等）、

地域と地域を、地域の人と人を「結ぶ」（連携等）取り組み——

文化財の保存・活用にあたっては、文化財所有者や市民活動団体などと行政がそれぞれの役割を明確にし、協働あるいは協力・連携して取り組みを進める。こうした取り組みを円滑に進めていくため、組織体制の充実を図る。

### 取り組み【行政・住民等間の意見交換・情報共有の場づくり】

事業名	地域・市民団体等とのネットワーク化
事業内容	地域、文化財所有者・保存管理団体、市民活動団体、専門家、行政などが、地域の文化財の保存・活用活動について、意見交換を行い、情報共有を図るネットワークづくりを推進する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・文化財所有者・保存団体・市民団体等
財源	市費等

### 取り組み【地域団体等の連携・交流】

事業名	地域における交流事業
事業内容	地域、市民団体、関係団体が連携し、文化財の保存・活用をテーマにした交流の場を設け、地域への愛着の醸成を図る。
事業期間	令和5（2023）年度～10（2028）年度
取り組み主体	地域・市民団体・関係団体等
財源	市費等

### 取り組み【地域での継承・活用活動への支援】

事業名	自治振興会活動支援事業
事業内容	地域マネージャー（集落支援員）などの協力を得て、各自治振興会等が地域の文化財の継承・活用に向けた自主的な活動が行えるよう支援を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	地域
財源	国費、市費等

### 取り組み【文化財行政の組織体制の充実】

事業名	専門職員の配置の促進と資質向上
事業内容	地域ニーズの高まりや、文化財の多様な保存・活用施策に対応するために、専門職員の配置を促進するとともに、職員の専門的な資質向上を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政
財源	国費、市費等

## (7) 関連文化財群関連事業

甲賀の特徴ある歴史・文化が一覧できるストーリーを設定し、ストーリーの構成文化財の整備や公開・情報発信等の活用について多彩な取り組みを進める。

## ストーリー1「古代王権と甲賀」関連事業

事業名	遺跡等維持管理事業
事業内容	遺跡地等の除草などを行い、管理を図る。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域等
財源	国費、市費等

事業名	文化財(遺跡)を活用したイベントの開催
事業内容	市民と協働し、遺跡を活かしたイベントの開催を行う。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・地域・市民団体・関係団体
財源	国費、市費等

## ストーリー2「甲賀武士の活躍」関連事業

事業名	中世城館跡整備事業
事業内容	城跡で木の伐採、除草などを行い、遺構の保存および顕在化を図り、見学などの活用を行う。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	文化財(城館)を活用したイベントの開催事業
事業内容	市民と協働し、城跡を活かしたイベントの開催を行う。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・地域・市民団体・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	忍者関係資料調査事業(日本遺産関連事業〈忍者〉)
事業内容	忍者や甲賀武士に関する調査を実施し、その実態を解明していく。
事業期間	令和2(2020)年度～10(2028)年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	忍者資源活用事業（日本遺産関連事業〈忍者〉）
事業内容	日本遺産（忍者）構成文化財のサイン整備、HPなど各種ツールの多言語化による情報発信を行うほか、リアル忍者を体感できる見学ルートの検討・整備を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

## ストーリー3「道と交通、城下町・宿場町」関連事業

事業名	文化財探訪事業
事業内容	東海道など街道を活用した探訪事業を開催し、地域の文化財を知り、町並み景観など守り伝えることの大切さを知る機会とする。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	地域・市民団体・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

## ストーリー4「甲賀の豊かな宗教文化」関連事業

事業名	文化財見学コースの整備
事業内容	公開可能な社寺などについて、公開時期などの情報を収集し、見学コースを整備するなど文化財の価値を高めるとともに、貴重な文化財に親しむ機会を設ける。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

## ストーリー5「甲賀の祈りと祭り」関連事業

事業名	祭礼行事の情報発信
事業内容	見学可能な祭礼行事の公開情報を発信し、地域内外からの見学者の増加により、地域の魅力を発信するとともに、保存継承への取り組みにつなげていく。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・保存団体・関係団体等
財源	国費、市費等

## ストーリー6「甲賀の生業と暮らし」関連事業

事業名	信楽焼魅力発信事業（日本遺産関連事業〈信楽焼〉）
事業内容	文化財的価値を損ねることなく信楽焼の魅力を向上させる整備を行い、見学者が訪問しやすい環境を整え、窯元散策など地域での取り組みの発信を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

事業名	薬業関連資料の調査事業
事業内容	薬業関係資料の調査および整理を行い、文化財登録を目指すとともに、資料については、展示などの活用を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体
財源	国費、市費等

事業名	伝統地場産業の活用事業
事業内容	地場の伝統産業の資料調査を行い、展示などを行うとともに、多分野間で連携し、産地を巡る見学会の開催や土産物の開発などの幅広い分野へ活用を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

### （8）文化財保存活用区域関連事業

文化財等が集積し、周辺環境と一体的に整備し、まちづくりに活用することが望ましい区域を設定。地域・市民活動団体・行政等の役割分担のもと事業を進める。

#### 文化財保存活用区域（1）「城と城下町」関連事業

事業名	国史跡水口岡山城跡整備事業（再掲）
事業内容	周辺環境を考慮した史跡の保存整備・活用方針を検討し、適切な整備を行う。除草等環境整備を行い、遺構の顕在化など史跡の保存を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	国史跡水口岡山城跡活用事業（再掲）
事業内容	史跡の解説リーフレットの作成、史跡見学者のための案内板設置、民間団体との協働によるイベントの開催や講演会・史跡探訪会・企画展などを開催し、史跡や周辺地域の魅力発信等活用を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	水口城跡調査事業
事業内容	詳細調査を実施し、史跡の状況を把握するとともに、保存と活用の方向性を検討していく。
事業期間	令和5（2023）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政
財源	国費、市費等

## 文化財保存活用区域（２）「東海道と宿場」関連事業

事業名	町並み景観の保全事業
事業内容	「甲賀市景観計画」を踏まえ、伝統的な町並みの保全のため、町並みを構成する重要な建造物などの調査を行い、保存や活用を検討していく。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域・専門家・関係団体
財源	国費、市費等

事業名	地域文化財の発掘事業
事業内容	街道文化を今に伝え、地域で大切に守られてきた文化財を調査し、街道散策で立ち寄れるような場所を増やし、まちづくりや観光振興につないでいく。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	地域・市民団体・関係団体
財源	国費、市費等

## 文化財保存活用区域（３）「かくれ里の伝統文化」関連事業

事業名	景観を活かした文化財活用事業
事業内容	油日神社と櫛野寺を巡る見学コースについて、拠点となる2ヶ所のほかに近隣の文化財や施設を紹介し、地域環境と一体的な活用を推進する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

## 文化財保存活用区域（４）「甲賀武士と中世城跡」関連事業

事業名	中世城館の保存・活用事業
事業内容	史跡の保存を前提とした適切な管理を行い、見学可能な城跡には、案内板などを設置し、説明パンフレットを作成するなど訪問者が見学しやすい環境を整える。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・地域・関係団体等
財源	国費、市費等

## 文化財保存活用区域（５）「修験の霊山と山伏の里」関連事業

事業名	修験関係資料調査事業
事業内容	飯道山に広がる飯道寺関連の遺構調査や山麓や各地に残る歴史・民俗資料などを調査収集し、飯道寺や山伏の活動についての実態を把握し、観光等活用を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体
財源	国費、市費等

事業名	飯道山観光ルートの整備事業
事業内容	飯道山の遺構や飯道神社、周辺地域の文化財をつなぐ観光ルートを整備し、飯道山を体感できるような活用を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・関係団体・民間
財源	国費、市費等

## 文化財保存活用区域（6）「紫香楽宮跡関連遺跡群地域」関連事業

事業名	国史跡紫香楽宮跡整備事業（再掲）
事業内容	紫香楽宮の遺跡を確実に保存し次世代に継承するとともに、史跡の所在する地域のまちづくりや観光の振興を視野に入れた活用を図るため、計画的に史跡の整備を行う。また、史跡整備にあたっては、立体模型やCG、VR等の手法を検討し、見学者が都城全体の歴史的価値を認識できるよう整備手法を工夫する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・文化財所有者等
財源	国費、市費等

事業名	国史跡紫香楽宮跡活用事業（再掲）
事業内容	計画書に基づき、案内板の設置や展示施設の充実、史跡探訪会やシンポジウムなどを開催するとともに、地域の活用事業の支援、さらに地域住民と協働して史跡の維持管理事業や新たなイベント実施などに取り組み、適切な形で史跡を継承するための理解促進を図る。都城遺跡の広域連携も検討する。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・専門家・関係団体等
財源	国費、市費等

## 文化財保存活用区域（7）「信楽焼と焼物の里」関連事業

事業名	信楽焼調査事業
事業内容	信楽焼の製造技術、用具、作品や関連資料の調査により収集した資料を整理し、重要なものの文化財指定を目指すとともに、技術継承や展示公開を行うなど保存活用を図る。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

事業名	無形文化財信楽焼保持者の認定
事業内容	無形文化財信楽焼保持者の認定基準を検討し、認定に向けての方向性を示していく。
事業期間	令和4（2022）年度～8（2026）年度
取り組み主体	行政等
財源	市費等

## 文化財保存活用区域（8）「多羅尾氏関連遺跡」関連事業

事業名	多羅尾氏関連史跡活用事業
事業内容	詳細調査を実施し、史跡の現状把握をし、関連史跡の保存を前提とした整備を行い、見学者が訪問しやすい環境を整える。また代官陣屋跡の公開など地域と連携した取り組みを行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・地域・関係団体
財源	国費、市費等

## （9）日本遺産関連事業

日本遺産に認定された「忍者」と「六古窯（信楽焼）」の構成文化財の周辺環境を整備し、活用促進を図る。

## 日本遺産「忍びの里 伊賀・甲賀～リアル忍者を求めて～」

事業名	忍者関係資料調査事業（再掲）
事業内容	忍者や甲賀武士に関する調査を実施し、その実態を解明していく。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体等
財源	国費、市費等

事業名	忍者資源活用事業（再掲）
事業内容	日本遺産（忍者）構成文化財のサイン整備、HPなど各種ツールの多言語化による情報発信を行うほか、リアル忍者を体感できる見学ルートの検討・整備を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体・民間等
財源	国費、市費等

## 日本遺産「きっと恋する六古窯～日本生まれ日本育ちのやきもの産地～」

事業名	信楽焼魅力発信事業（再掲）
事業内容	文化財的価値を損ねることなく信楽焼の魅力を向上させる整備を行い、見学者が訪問しやすい環境を整え、窯元散策など地域での取り組みの発信を行う。
事業期間	令和2（2020）年度～10（2028）年度
取り組み主体	行政・文化財所有者・関係団体・民間等
財源	国費、市費等